

日本人専用ワクチン接種プログラム

1. プログラム概要

- 在タイ日本国大使館が、タイ保健省及び10の協力病院と連携し、日本人専用の登録・接種機会を提供。
- タイ政府の新型コロナワクチン接種計画の下、8月2日からアストラゼネカ・ワクチンの接種を開始(自己負担なし)。
- 在留邦人が多く居住する首都バンコク、シラチャー(タイ東部)及びチェンマイ(タイ北部)で登録・接種を実施。
- 対象年齢は、段階的に引き下げられ、現在はバンコク・シラチャーでは40歳未満(18歳以上)*、チェンマイでは40歳以上へと拡大。

*タイ保健省は日本人に特別に配慮。現在のタイ政府の基本方針は、40歳以上、7つの基礎疾患保有者、12週以上の妊婦。

2. 接種状況(9月1日時点)

- 8,995名の在留邦人が本プログラムでアストラゼネカ・ワクチンを接種(9月1日時点)。
- タイで新型コロナ・ワクチンを接種した在留邦人数は、7月30日時点では8,113人であったが、8月26日時点では18,176人へ増加(保健省データ)。
- 本プログラムが開始されてから1ヶ月弱で10,063人の増加がみられ、極めて早いペースで邦人接種が加速している。
- SNS上では、接種機会が得られたことに感謝するなどの反応も多く寄せられている。



令和3年9月2日
在タイ日本国大使館

←日本人専用接種・
接種会場の様子

↓→協力病院に
おける日本人専
用接種プログラ
ムの立て看板



→絵馬に記された接種者
からの謝意。

